

佳作

おにぎり

兵庫県 姫路市立糸引小学校六年 熊田 有華

私には大好物の食べ物があります。それは祖母が作ってくれるおにぎりです。白いお米に塩が少ししかかってのりでまいているだけに最高においしいのです。なぜおにぎりがこんなにおいしいのか考えてみました。

まず一つ目は、お米が自家製だということです。となりに住んでいる祖父母は先祖代々からうけついで土地を大事にし、米や野菜を作っています。祖母は若いころから畑仕事を朝から晩まで一生懸命していたそうです。畑仕事から帰ってきてから家族の食事を作ったり家の用事をするのは大変だったと言っていました。でも、ずっと今まで続けてくれたおかげでもちもちしておいしい最高のお米が食べられます。

二つ目は愛情がこもっているからだと思います。

両親が夜仕事でいないとき、祖母の家に行って夕食を食べます。ごちそうではないけれども、畑でつくったとれたてのトマトやきゅうり、なすびをつかったものがでできます。形はお店で売っているものより変だけど味がギュツとつまってとてもおいしいです。年もとって、しんどいだらうに私たち姉弟のために作ってくれます。祖父母と昔のことを話しながら食べるのはとても楽しいです。学校でいやなことがあったり、勉強がしんどくてもこのおにぎりを食べるとおいしくてそのいやな気持ちや和らぎます。手間をかけて私たちが食べやすいようにミニサイズでにぎってくれるので六個は食べられます。そして、「いっぱい食べて大きくなりね。それから無理して食べてはいけませんよ。」

とってくれます。自分が大きくなって、色んな悩みや不安があっても変わらない祖母のおにぎりの味と思いが私を強くすると思います。

三つ目はお米を食べられる事は、幸せな事と学んだからです。祖父母が子供だったころは、戦争中で米はぜいたくな物だったそうです。今でも米どころか、食べ物がない命をおとす子ども達がたくさんいます。だから米を頂ける事のありがたさを忘れて

はいけないと思います。

祖母のおにぎりは、すごいパワーを秘めています。毎年お盆にいとことバーベキューをしますがそこで人気なのはおにぎりです。肉がメインのはずなのになぜかみんなおにぎりを最初に食べてしまい、お腹いっぱいになってしまいます。あまりにも人気で毎年おにぎりを食べられなかった母が今年初めておにぎりを食べました。

「おいしい、どうやって作るの？」

と聞いて二、三個ペロリとたいらげました。母も、今は亡き祖母に作ってもらったおにぎりが大好きだったそうです。おにぎりはみんなを優しい気持ちにしてくれます。色んな思い出がつまっています。おばあちゃんいつもおにぎりをつくってくれてありがとう。今度は私がつくってあげるからね。